

SSKO

Drug Addiction Rehabilitation Center

DARC

Grow up!!

栃木ダルク

ニュースレター 第57号(2007, 12, 10)

師走に思うこと

栃木 DARC 代表 栗坪千明

いつの間にか12月になってしまいました。急に寒くなってきましたね。一年はあっという間です。那須ではすでに3度雪が降りました。宇都宮もコートの必要な季節になりました。世の中では続く覚せい剤取締法違反による芸能人の逮捕が騒がれています。ある母親が記者会見で涙ながらにお詫びと前回の逮捕からの経緯の説明をしていました。ただ仕事は休むことなく続けるということで、番組コメンテーターが「何を考えているのか」的なことを言っていました。きっとこの人は薬物問題とは縁遠いところで生きている人なんだろうなと思いTVを見ていました。私的には依存からの回復は本人にしか出来ませんから、回復については第三者である母親が仕事に行くことは良いことなんではないかと思えます。今さら母親が付き添っても依存症が良くなるってもんでもないですからね。というより記者たちの質問やコメンテーターの発言を聞いて思うことは、どうしても更正するという方向に行きますよね。依存症を回復させるという議論にはほとんどならない。こういう考え方がある限り、良い方向には行かないんじゃないかなと、恐れながら思います。なにか薬物を使った人が良くなってしまっただけでは、使わないで居る人に示しがつかないというか、回復するんであれば、使いたくなくなってしまうのではないかという恐れがあるように感じます。

薬物を扱ったドラマなども必要以上に離脱症状の大変さをアピールしたり、一時的に使わなくなっても結局最後には使ってしまうで死んでしまったりと、私なんかが見ていると現実にそぐわない大げさな話に作られていますね。あれを見た子供た

ちが遊び半分で使ったときに実際はテレビのようにならないから、「なあんだ」と甘く考えてしまうんじゃないかと思ってしまう。実際は使わなくなってからがスタートで、そこからが大変なのにそこは表現しにくいんでしょうか。日本のマスコミは、そこはあまり興味を持たないようですね。最近レンタルビデオでホワイトハウスというアメリカの連続ドラマを観ました。登場人物の首席補佐官がアルコールと薬物依存の過去があり、そのことで職を失いそうになるという展開が物語の一部にあるんですが、その中で首席補佐官が言っていた言葉に「依存症は治らない、いつ再発するかもわからない」というものがありました。以前にはリハビリ施設で治療を受けたし、今でもミーティングに通っているというシーンがあるのです。そしてそのことを受け入れられ、職を失うこともないのです。これはフィクションですが、こんなに実際とあった内容のドラマを観たのは初めてなので、日本とアメリカの違いを思い、感慨深いものがありましたね。

以前にアメリカの施設に何度か研修に行ったことがあるのですが、そのとき私が知っている範囲で日本の実情を話したら、50年位前のアメリカもそうだった。と言われたのを思い出しました。でも日本が同じ形になる必要はないと思いますが、アディクトやその家族にとって、もっと優しい国になってくれると良いなと思います。

編集

栃木DARC

宇都宮OP

那須TC

〒320-0014

〒329-3225

栃木県宇都宮市大曾 2-2-14

栃木県那須郡那須町豊原丙 3227-2

形松ビル 3F

TEL 028-650-5582 FAX 650-5597 TEL 0287-77-7157 FAX 77-7158

ホームページアドレス <http://www.t-darc.com>

Eメール:nesm@t-darc.com

栃木ダルクの変化と今後の展望

宇都宮 OP 責任者

栃原晋太郎

師走もおしせまる今日この頃、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。今年は例年より寒さが厳しいようですが、栃木ダルクのメンバーは自身の社会復帰に向けてプログラムやアルバイトに精をだしています。

さてご存知の方も多いとは思いますが、栃木ダルクには那須と宇都宮に施設があります。私が手伝いをさせていただいている宇都宮の施設も、皆様からのご理解とご協力があり今月で丸2年を迎えることが出来ました。本当に有難うございます。

最初のうちは全てが初めての経験ですし、理解者がいないとか支援者が足りないとかいうレベルではなく、とにかく利用者だけではなくスタッフを含めた全員が那須の山奥でしかプログラムをやったことがなかったので、どうしていけば宇都宮の施設を当初の目的のように、社会復帰施設という形に出来るのか全く分かりませんでした。ですから那須でやっていたプログラムをそのまま導入しましたし、とにかくアルバイトをさせるとか、自立をしてもらうにはどうすればいいのかとか、そんなことばかりを考えていたように思います。なかなか軌道には乗らず、苦い経験の蓄積というか・・・利用者やスタッフがスリップをすることもありました。急にいなくなってしまう仲間、仕事を途中でやめてしまう仲間、どうしたらいいのかと。今思えば私の中の変なプライドとか高慢さが関係して勝手に悩んでいたような気がしますけど（^^）。ただ、様々な失敗があり、成功も少しはあり、本当に経験ですね。とにかく沢山の経験をすることで、少しずつですが軌道に乗り始めてきているような気がします。プログラムの充実や5ステージの導入など、足りないと感じたものを少しずつ足していると言ったほうがいいのかもかもしれません。そしてこれからより質の高いものにしていくためには、私たちスタッフの成長も欠かせないと痛感しています。今年に入ってから少しずつ余裕も出てきて、今までは出来なかったことに

も少しずつ手を広げていっています。1年目は地域の方々との連携やダルクの理解者を増やすことについては、忙しいとか人手が足りないといった理由をつけて、毎回先送りにしてきました。自分の回復と似たような気がしますけど、どんなに自分たちのなかで意義があると考えていて自信を持って活動していたとしても、やはり一人では生きていけないですね。周りの人達からの理解や共感も受けられる形を今は目指しています。

そんな中での第1歩といいますか、キッカケ作りになるようにと、今年の春から栃木県社会福祉協議会が主催している「企業とボランティアNPOパートナーシップ会議」なるものに参加するようにしています。これは宇都宮の前責任者が関係を作ってくれたものを引き継いだのですが、なかなか面白い会議で、栃木県内の企業の中でも特に地域貢献やボランティア活動の必要性を感じていてくれる企業の代表の方々と、我々NPO とが集まって会議を行っています。従来からの「NPO は困ってるんだから献金をください」とか「とにかく支援してください」だけではなく、「一緒に何か出来ないか」とか逆に「ダルクなどでやっているプログラムを企業のなかに取り入れられないか（例えば新人教育や社会貢献活動をしようとしている社員を集めて講演を実施したり）」といった取り組みに繋げることを目的にしています。まだまだ形にはなっていませんが、地域の企業やボランティアグループとうまく連携ができれば、利用者の就労支援や地域参加にも繋がるでしょうし、時間をかけて関係性を深めていければと考えています。

それと栃木ダルク内の変化というか取り組みといえば、宇都宮RH（宿泊施設）の引っ越しですね。那須という私たち依存症者にとっては守られた場所で断薬を主目的としたリハビリ期間を終えた仲間達が、より社会に近い環境で自立に向けたプログラムを実践していく為に宇都宮の施設に移動してきます。生活環境の変化があり、自由と責任の増加を経験することで回復を深めてもらいます。その変化の中の1つとして、宇都宮では「自分の（回復の）ために自分の足で通う」ということを大切にされたこともあり、プログラムをする場所と宿泊施設を分けてきました。ただ実際に2年間過ごしてきた中で、宿泊施設の老朽化が目立ちはじめたこと、栃

木ダルクのプログラムとして考えた時に宇都宮という人の多い場所に来て、急に殆どの部分を自己責任で行動するという事で問題もありましたし、身体疾患を抱えた仲間が多いなかで毎日の自転車での通所といのも限界があるように感じて、12月20日に宇都宮OPの1階に引越しをしてくることにしました。

家賃は少しだけ上がりますが、その分駐車場が多く確保できました。今までは宿泊施設のそばに2台分の駐車場を借りていたのですが、僕らが毎日通勤で車を使っているため、宇都宮OPにせっかくある駐車場が場合によっては3台すべてダルクのスタッフの車で埋まってしまい、相談者や関係者の方々が来所していただいた際に止める場所が無いといったことが度々ありました。今回RHをOPの1階にする際に現状の3台だった駐車スペースを5台にする契約が出来たので少なくとも2台は来所者専用の駐車場ができましたので、今後は今まで以上に施設の見学や相談といった活動を広げていけると思います。関係者の方々も今まで以上に気軽にお立ち寄りください。

今後も「本人が回復したいと思えば回復することが出来る場所を提供し続けること」を第一に頑張っていこうと思っていますので、ご理解とご協力をお願いします。

最後に、引越し費用の為の献金、日用品や家具の献品などありましたらご連絡をいただきますよう重ねてお願いいたします。



12月予定表

12月2日 葛生の蕎麦を食べに行く会
12月4日 アルコール関連問題準備委員会
12月8日 北関東薬物関連問題研究会参加
12月11日 ガイドポスト
12月16日 クリスマスチャリティーコンサート
12月20日 宇都宮RH引越し
12月23日 宇都宮家族会
12月31日 1月1.2日 年越しフェロシップ

11月献金を下さった方々

森谷和義様、酒井良吉様、栗原亜希子様
長島孝一様、江夏国彦様
匿名3名様

11月献品を下された方々

森谷和義様、森文男様、本間由美子、大金玉枝様
ラント・ピエル神父様、アクション家族会栃木様
IONOdeMUSICAの方々
匿名2名様

編集後記とお願い

寒い寒いと思って外を見てみると雪が降っています。今年は例年より寒いようで那須では雪が降る日が多くなりました。基本的に外に出ることが嫌いな私にとってますます外に出るのが億劫となりつつあります。

さて施設のほうですが例年ならば自己管理の出来ない仲間が多く、風邪や体調を崩す仲間が多いのですが、今のところそんなことも無く無事に生活ができております。（去年より人数が多いのですが不思議です）

寒さ対策としては暖房器具に頼るしかありませんが灯油などの燃料の値上げで四苦八苦している状態ですが、これからも「でも雪など関係ねえ」というかんじで生活していきたいと思っております。

今、これを書いている時点で24名が生活をしてしておりますが日用品やお米などが不足しております。いつもお願いばかりで心苦しいのですが献金、検品などをお願いいたします。

那須 TC 長谷川

発行所

郵便番号一五七〇〇七三 東京都世田谷区砧六―二六―二二
特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価100円